

がん患者サロン「いきいきかぐらざか」を再開します！

この度、東京新宿メディカルセンターでは、これまでCOVID-19の影響で開催をお休みしていた、院内におけるがん患者サロンを再開する予定です。

がん患者さまが療養生活に関しての情報を得られる場として、がんの種類などは問わず、少人数で感染対策を十分にとり、直接顔を合わせながら行うことを計画中です。

がん患者団体に参加されている方をご招待し、がんサバイバーとしての経験談、患者団体に参加されて良かったことなどをお話ししていただく企画や、日々の悩みな

がん相談支援センター 細羽 祐依・太田 英恵
 どを参加者同士で語り合い共有できたらと考えています。

また、心と気持ちのリラクゼーションをはかるために、身体をゆっくりと動かす内容も検討中です。

がん患者サロンを通じて、皆様の気持ちや身体が少しでも楽になれたらと思っております。

感染状況をみながら企画していきますので、詳細については、当院ホームページ、院内掲示等でお知らせいたします。ぜひ、ご参加ください。

～以前のがん患者サロンの様子です～



がん相談支援センターは、そのほかにもいろいろなご相談をお受けしています



がん相談支援センター（患者サポートセンター内）
 03-3269-8137（直通） 平日 9:00～16:00

独立行政法人 地域医療機能推進機構
東京新宿メディカルセンター

発行：JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療委員会

〒162-8543 東京都新宿区津久戸町5-1

電話 03-3269-8111（代表） URL：http://shinjuku.jcho.go.jp

独立行政法人 地域医療機能推進機構
東京新宿メディカルセンター

がん診療情報誌

いきいきかぐらざか

れんげ草には「心が和らぐ、苦しみを和らげる」という花言葉があります。
 「みなさんが自分らしく過ごせるように」という意味をこめて情報誌を作成しております。

JCHO東京新宿メディカルセンター がん診療委員会



れんげ草

チームで支える放射線治療

高精度放射線治療センター

「放射線治療」と聞いて、どのようなイメージを抱かれるでしょうか。がん治療においては主要な治療法の1つですが、残念ながら、内科・外科治療と比べて一般の方々における認知度はまだまだ低いのが現状です。主治医の先生から放射線治療を勧められて初めて放射線治療科を受診される患者さまには、放射線治療について分からないことだらけの方、故に漠然と怖いイメージをお持ちの方もいらっしゃると思います。患者様が少しでも負担なく放射線治療を受けていただけるよう、当院でも医師・看護師・診療放射線技師によるチームでの取り組みを行っておりますので、その一部をご紹介します。

放射線治療科医師 内海 暢子



日々の放射線治療の照射業務は、主に診療放射線技師が担当しております。放射線治療は1日1～2回を数日～数週間に渡り行い、1回の治療時間は約10～20分程かかります。治療の流れは以下の通りです。

- ① お着替えをして治療台に寝ていただきます。
- ② 正確に放射線が投与されるように補助具等を使用し、治療中の姿勢を整えさせていただきます。
- ③ 体位が整ったら予め体に付けた印を基に位置を正確に合わせます。
- ④ スタッフが退室し放射線を照射、治療を行います。

また、治療の品質を保つために機械の精度管理・治療計画の検証も実施しております。検証結果は複数の技術者によって十分に確認しております。更に、カンファレンス等を通してスタッフ全体で積極的に情報共有を行う等、患者さまに安全で品質の高い医療を提供できるよう取り組んでいます。

主任診療放射線技師 芦刈 雄一郎



高精度放射線治療センタースタッフ一同

患者さまから「放射線と聞くだけで不安」や「副作用が一番気になる」という訴えをよく耳にします。そこで、治療開始から終了までの一連の流れとその時々患者さまが注意すべき事柄をまとめたスケジュール表(下図)をお渡しし、看護師と一緒に読み合わせることで、放射線治療に対する理解を深めていただきます。また、治療期間中の日々の生活や治療の有害事象に対するケアについてのアドバイスや、後述のアンケート等の患者さまからの訴えを基にした他職種のスタッフと連携した対応、がん看護外来の看護師によるヒアリング等患者様へ手厚くサポートすることにより、できる限り不安なく快適に放射線治療を受けていただけるよう取り組んでおります。

看護師 野原 里江子

放射線治療期間は、数日～数週間程度となります。特に初めて放射線治療を受けられる患者さまにとっては、治療期間中に様々な未知の経験をしていただくこととなります。それらの経験1つ1つに対して、患者さまは満足感や不満感、安心感、不安感、要望等の感想を持たれると思いますが、より質の高い医療を実現するためには、治療を受ける全ての患者さまが満足感や安心感で満たされていることが不可欠であると考えております。そこで当院では患者さまに対し、独自に考案したアンケートを治療期間中に複数回実施することで患者さまが抱く感想を分析し、それを適宜我々の業務に反映させることで、患者さまにより多くの満足感、安心感が得られるよう取り組んで参ります。

医学物理士 野口 修平

治療方法	前立腺放射線治療		病名：前立腺癌		名前：新宮 一郎	
項目	治療計画日	治療前	治療開始日	治療中	10日目/20日目	
● 放射線治療の流れについて分かる	● 治療について分からないことは何らかの方法で解決できる	● 治療の準備がスムーズにできる	● 治療を受けたことを行うことができる	● スムーズに治療が受けられる	● 治療について分からないことを解決することができる	
1 前立腺癌の導入をお話しします	1 決定書(バックアップ)を作成します	1 「ハーサル」を行います (09:00-10:00)	1 前処置を行います (08:00-09:00)	1 前処置を行います (08:00-09:00)	1 スタッフとのアテンドがあります	
2 治療方針の説明をします	2 前処置を行います (08:00-09:00)	2 入院手続きを行います (09:00-10:00)	2 放射線治療を開始します (10:00-11:00)	2 放射線治療を開始します (10:00-11:00)	2 治療中のアンケートをお話しします。	
3 治療日程を決めます	3 治療計画用紙を行います (09:00-10:00)	3 治療前のアンケートをお話しします。		3 毎週水曜日に定期診察があります		
4 治療室内の見学があります	4 治療計画用紙を行います (09:00-10:00)					
5 放射線治療の流れについて分かる	5 治療について分からないことは何らかの方法で解決できる	5 治療の準備がスムーズにできる	5 治療を受けたことを行うことができる	5 スムーズに治療が受けられる	5 治療について分からないことを解決することができる	
6 前立腺癌の導入をお話しします	6 決定書(バックアップ)を作成します	6 「ハーサル」を行います (09:00-10:00)	6 前処置を行います (08:00-09:00)	6 前処置を行います (08:00-09:00)	6 スタッフとのアテンドがあります	
7 治療方針の説明をします	7 前処置を行います (08:00-09:00)	7 入院手続きを行います (09:00-10:00)	7 放射線治療を開始します (10:00-11:00)	7 放射線治療を開始します (10:00-11:00)	7 治療中のアンケートをお話しします。	
8 治療日程を決めます	8 治療計画用紙を行います (09:00-10:00)	8 治療前のアンケートをお話しします。		8 毎週水曜日に定期診察があります		
9 治療室内の見学があります	9 治療計画用紙を行います (09:00-10:00)					
10 放射線治療の流れについて分かる	10 治療について分からないことは何らかの方法で解決できる	10 治療の準備がスムーズにできる	10 治療を受けたことを行うことができる	10 スムーズに治療が受けられる	10 治療について分からないことを解決することができる	
11 前立腺癌の導入をお話しします	11 決定書(バックアップ)を作成します	11 「ハーサル」を行います (09:00-10:00)	11 前処置を行います (08:00-09:00)	11 前処置を行います (08:00-09:00)	11 スタッフとのアテンドがあります	
12 治療方針の説明をします	12 前処置を行います (08:00-09:00)	12 入院手続きを行います (09:00-10:00)	12 放射線治療を開始します (10:00-11:00)	12 放射線治療を開始します (10:00-11:00)	12 治療中のアンケートをお話しします。	
13 治療日程を決めます	13 治療計画用紙を行います (09:00-10:00)	13 治療前のアンケートをお話しします。		13 毎週水曜日に定期診察があります		
14 治療室内の見学があります	14 治療計画用紙を行います (09:00-10:00)					
15 放射線治療の流れについて分かる	15 治療について分からないことは何らかの方法で解決できる	15 治療の準備がスムーズにできる	15 治療を受けたことを行うことができる	15 スムーズに治療が受けられる	15 治療について分からないことを解決することができる	

スケジュール表の一部 (全体のサイズはA3)

より良い がん診療のために キャンサーボードのご紹介

外科部長 東 久登

外科の東 久登と申します。今回はわれわれが取り組んでいるキャンサーボードについてご紹介します。キャンサーボード(cancer board)とは、cancer(=がん) board(=委員会)で、日本語にすると「がん治療委員

会」といったところでしょうか。通常の診療では、各診療科や各病棟でのカンファレンスで医師、看護師、リハビリテーション科技師などが集まり、それぞれの患者さまについて治療・看護・リハビリの

検討や方針の共有などを行っています。しかし、がん診療においてはさらに多くの専門科が集まって議論する必要があることが多くみられます。例えば直腸がんや膀胱に病気が広がっており、肝臓や肺、骨にも転移があるような場合には消化器内科・外科、泌尿器科、婦人科、呼吸器内科・外科、脊椎脊髄外科、整形外科、放射線治療科、緩和ケア内科、病理診断科などの各専門医師、また看護については病棟看護師だけでなくがん看護専門・緩和ケア、皮膚・排泄ケア(人工肛門の管理など)認定看護師など、また薬剤師、栄養士など、非常に多職種かつ多くの専門家が集まって治療につき検討する必要があります。

当院にはあらゆるがん診療に携わる専門家が揃っていますが、みな通常業務に忙しく、決められた時間にこれだけの専門家を集めるのは困難です。そのため、多くのがん診療連携拠点病院で「キャンサーボードを定期的に行うのは難しい」との意見がみられます。そこで、当院では新しい試みとして「院内メーリングリストを利用したキャンサーボード」を行なっております。

電子カルテシステムのメール機能を用い、キャンサーボードのメンバーが参加したメーリングリスト(一度にメンバー全員へ同じメールを送信できる仕組み)を利用しています。これにより、主科(主に患者さまを担当する科)の担当医が病状・背景などをキャンサーボードメンバーに一斉送信します。メールは電子カルテのシステムを用いており、院内のキャンサーボードメンバーにしか配信されない仕組みとなっております。そのため患者さまの個人情報漏洩の心配はありません。

各メンバーは、自由な時間にメールをチェックして意見をメーリングリストに送信します。これにより多くの意



見が集まり、メーリングリスト上で熱い議論が起こることも珍しくありません。担当医は追加情報をメーリングリストに送信し、徐々に各患者さまの病状だけでなくご希望や体力・社会背景なども考慮された最適な治療方針が出来上がってきます。担当医はさらに患者さまと相談しながら主科のカンファレンスでも検討した上で最終的な治療方針を決定します。この仕組みにより、複雑な病態に対しても適切な集学的治療(さまざまな治療法を組み合わせたもの)を行なっています。

さらに月一回、対面でのキャンサーボードを開催しています。参加者は各診療科、認定看護師や薬剤師、放射線技師などで、毎回10-15人ほど集まります。そこで、その後の経過を共有したり、新規症例について検討するなどしています。

このように、より良いがん診療のための取り組みを行なっております。普段、外来や病棟で対応する担当医以外にも、皆様の治療方針決定に多数のスタッフが関わっていることをご理解いただければ幸いです。

